

としょかん つうしん

3月号



3月号のテーマは「こころ・気持ち」です。なみだの気持ちや笑顔の気持ち、うらやましがったり、びくびくしたり。そんな、こころを描いた絵本を集めてみました。



「えがおがいいね」

年少くらいから

下田冬子作・絵
鈴木出版

ねずみくんが泣いていると、それを見ていたねこさんやいぬくんも泣きはじめてしまいました。えーんえーんと大合唱していると、だんだん面白くなってきて…。泣いた顔も笑った顔もみんなすてき、そんな気持ちになれる絵本です。



「あたしもびょうきになりたいな!」

年中くらいから

フランツ＝ブランデンベルクさく
アリキ＝ブランデンベルクえ ふくもとゆみこやく
偕成社

エリザベスは、病気になったエドワードがみんなに優しくお世話してもらっているのを見て、うらやましくて仕方がありません。自分も病気になりたいと思っていると…。多くの人を感じたことがあるだろう幼い子の素直な気持ちがいていないに描かれています。くり返しのフレーズが印象的です。



「びくびくピリー」

年長くらいから

アンソニー・ブラウンさく 灰島かりやく
評論社

ピリーは心配性の男の子。いろんなことが気になって夜も眠れません。おばあちゃんに相談したら、小さな人形をくれました。これでピリーは眠れるようになるのでしょうか。中央アメリカのグアテマラという国に伝わる“心配ひきうけ人形（ウォーリー・ドール）”。心配ごとがあるときに、ためしてみてもいいかもしれません。

※対象は目安です。